

## 盛岡市総合計画実施計画

### ー 令和 4 年度実績（戦略プロジェクト） ー

# 目次

戦略プロジェクトの概要.....	1
資料の見方.....	2
<b>重点1</b> 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト.....	3
■ 重点事業の実績.....	3
■ 指標の状況.....	9
■ 主な成果、課題、今後の取組.....	10
<b>重点2</b> 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト.....	13
■ 重点事業の実績.....	13
■ 指標の状況.....	18
■ 主な成果、課題、今後の取組.....	19

## 戦略プロジェクトの概要

### ■ 戦略プロジェクトについて

基本目標を達成するため、各分野の29施策において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、「社会の潮流」や「まちづくりを考える上で重視する視点」等から導かれる本市の課題を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

### ■ 戦略プロジェクトの取扱い

戦略プロジェクトは、毎年見直しを行い、戦略プロジェクトの加除のほか、戦略プロジェクトを構成する重点事業の加除を行いながら、弾力的で効果的な運用を図ります。

### ■ 施策間の連携

「戦略プロジェクト」に掲げる事業は、「まちづくりの取組」に掲げる施策の中に含まれますが、施策横断的に取り組むことにより、効果的な連携を図ります。

### ■ 取組期間

概ね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

### ■ 取組項目（令和4年度）

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト（1年目）

重点2 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト（1年目）

**資料の見方**

戦略プロジェクトごとに主な取組内容を掲載しています。

**重点 1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト**

(取組期間：令和4年度～令和6年度)

○ DX時代のしごとづくり

企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組みました。また、AI、IoT等の新技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援しました。

戦略プロジェクトを構成する重点事業ごとに計画額と実績を掲載しています。

取組の方向性	No	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
	1	スマート農業導入促進事業	21	6,300	3,859	0
	2	商業振興事務 (中小企業者人材育成事業)	22	300	186	0

・ スマート農業導入促進事業

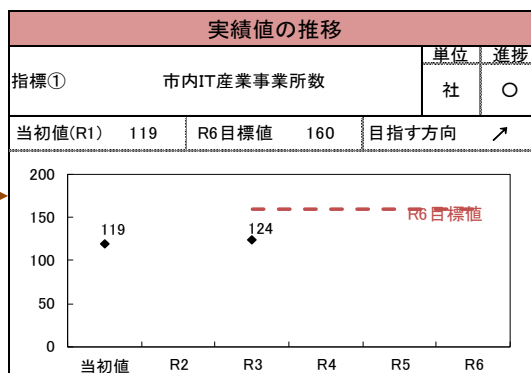
当初想定(ドローン本体4台、講習14人、草刈機3台)に対し、対象者が少なかった(実績：ドローン本体2台、講習11人、草刈機4台)ことにより、実績額が小さくなりました。

計画額と実績額の乖離が大きい事業があった場合、要因を掲載しています。

進捗を客観的に測るために設定した指標の状況や分析結果を掲載しています。

・「性格」欄の「∧」は数値を上げていくことを、「∨」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。

・「状況」欄の「☆」は目標値に到達、「◎」は目標値に向け順調に推移、「○」は目標値に向け推移、「△」は遅れが生じていることを表します



令和4年度の実績による主な成果と課題を掲載しています。

■ 主な成果、課題、今後の取組

・ DX時代のしごとづくり

(成果)

令和4年度に、IT関連事業者3者と立地協定を締結したことは一定の成果と言え、本市への立地等に関心のある企業に対して、パンフレットやホームページ等により、IT産業振興に積極的に取り組んでいることを伝えることができていることが結果に繋がっているものと思われます。

## 重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

(取組期間：令和4年度～令和6年度)

### ○ DX時代のしごとづくり

企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組みました。また、AI、IoT等のデジタル技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援しました。

### ○ 若者と地元産業をつなぐ

高校生や大学生等が学校の枠組みを超えて地域を知り、社会人と交流しながら地域課題の解決に取り組む場の提供や、若者が本市で働き、生活することの魅力効果を効果的に発信するとともに、インターンシップや就職ガイダンス等により地元企業の認知度の向上や就業希望者とのマッチングを支援したほか、新社会人を対象としたコミュニケーションスキル研修などの実施による職場定着の支援に取り組みました。また、特に人手不足が深刻な保育士や介護職については、奨学金返還支援等により東京圏との待遇差による影響の解消に努めました。

### ○ 仕事と子育ての希望をかなえる

ICTを活用した働き方改革等、地元企業のワーク・ライフ・バランスの取組を支援しました。また、SNSを活用した効果的な子育て情報の発信や、子ども未来基金を活用した子育て支援、児童センター整備等による就学期の子ども居場所づくりに取り組んだほか、男性の育児参画や働く女性の交流を支援しました。

## 重点事業の実績

(単位 千円)

取組の方向性	No	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
DX時代の仕事づくり	1	スマート農業導入促進事業	21	6,300	3,859	0
	2	商業振興事務 (中小企業者人材育成事業)	22	300	186	0
	3	(仮称)盛岡南地区新産業等用地整備推進事業	22	10,000	8,400	0
	4	盛岡AI・IoTプラットフォーム事業	23	16,900	15,758	0
	5	スマートシティ関連事業	23	6,800	0	0
	6	成長分野拠点形成支援事業	23	8,300	8,300	0
	7	工場新設拡充等事業	23	59,843	197,318	0
	8	盛岡広域企業誘致推進事業	23	814	814	0

取組の方向性	No	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
DX時代の仕事づくり	9	産業支援事業	23	1,199	805	0
	10	インキュベーション支援 (産業支援センター管理運営事業)	23	16,573	16,751	0
	11	インキュベーション支援 (産学官連携研究センター管理運営事業)	23	18,393	18,110	0
	12	インキュベーション支援 (新事業創出支援センター管理運営事業)	23	7,932	8,186	0
	13	起業家支援事業	23	160	160	0
	14	新産業等用地整備事業	23	329,085	38,843	0
	15	雇用対策推進事業 (盛岡市中小企業デジタル化促進モデル事業)	25	10,000	9,994	0
若者と地元産業をつなぐ	16	保育士確保対策事業 (保育士奨学金返還支援給付金)	2	10,591	8,554	0
	17	保育士確保対策事業 (保育士宿舍借上げ支援事業補助)	2	81,684	64,056	0
	18	保育士確保対策事業 (若手保育士等処遇改善事業補助)	2	7,290	6,006	0
	19	保育士確保対策事業 (保育体制強化事業)	2	18,000	16,713	0
	20	介護従事者確保事業 (介護職員奨学金返還支援事業)	3	9,415	9,135	0
	21	介護従事者確保事業 (介護の仕事魅力発信事業)	3	152	16	0
	22	移住・定住・交流人口対策事業 (移住・定住の促進)	14	27,466	35,632	0
	23	若者の就業支援事業 (企業向けインターンシップセミナー)	19	1,500	1,500	0
	24	若者の就業支援事業 (高校生等地元就職フォローアップ事業)	19	2,160	2,160	0
	25	若者の就業支援事業 (新社会人就職定着支援事業)	19	1,975	1,975	0
26	若者の就業支援事業 (高校生インターンシップ事業)	19	42	41	0	

取組の 方向性	No	重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
若者と地元産業をつなぐ	27	若者の就業支援事業 (高校生スキルアップ支援事業)	19	106	106	0
	28	若者の就業支援事業 (ジョブカフェいわて運営事業)	19	5,004	5,004	0
	29	若者の就業支援事業 (ふるさとワーキングホリデー事業)	19	6,592	6,500	0
	30	食と農のバリューアップ推進事業 (6次産業化等スタートアップ支援事業)	21	6,679	4,822	0
	31	新規就農支援事業	21	22,185	21,579	0
	32	盛岡りんご担い手バックアップ事業 (りんご剪定作業担い手育成補助)	21	1,200	1,000	0
	33	林業労働対策事業 (森のしごと見学会)	21	1,129	1,100	0
	34	盛岡テクノミュージアム設置事業	23	425	165	0
	35	工業振興事業 (企業サポート専門員)	23	3,384	3,384	0
	36	雇用対策推進事業 (オンライン企業研究会)	25	1,500	1,499	0
	37	雇用対策推進事業 (新卒・若者就業支援事業)	25	1,377	1,377	0
仕事と子育ての希望をかなえる	38	児童館整備事業 (（仮称）向中野児童センター整備事業)	2	222,760	207,249	0
	39	児童館整備事業 (（仮称）太田児童センター整備事業)	2	13,552	9,999	0
	40	児童館管理運営事業 (児童厚生員の適正配置)	2	25,257	26,069	0
	41	児童館管理運営事業 (児童センター利用時間延長)	2	299	299	0
	42	地域児童クラブ等運営事業 (放課後児童クラブ家賃補助の拡充)	2	1,764	1,488	0
	43	地域児童クラブ等運営事業 (余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業)	2	2,500	2,144	0
	44	私立児童福祉施設運営費助成事業 (医療的ケア児保育支援事業)	2	7,338	3,600	0

取組の方向性	No	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
仕事と子育ての希望をかなえる	45	子育て世代包括支援センター事業	2	9,727	10,103	0
	46	子ども家庭総合支援センター事業	2	19,251	20,461	0
	47	子ども未来基金事業	2	15,069	14,405	0
	48	子ども・子育て情報発信事業	2	770	605	0
	49	母子保健事業 (産後ケア事業)	2	1,501	2,589	0
	50	不妊に悩む方への特定治療支援事業 (不妊専門相談センターの設置)	2	1,782	1,781	0
	51	男女共同参画推進事務 (もりおか女性センター管理運営)	7	63,126	63,126	0
	52	男女共同参画意識啓発事業	7	389	381	0
	53	特別支援教育事業 (医療的ケア学校看護師の配置)	17	4,886	1,018	0
	54	雇用対策推進事業 (魅力ある職場づくり推進事業)	25	1,096	1,096	0
全54事業 事業費合計				1,093,522	886,221	0

- ・ スマート農業導入促進事業  
事業実施主体による見積合わせの結果、購入単価が計画額よりも低廉に収まったこと等により、実績額が小さくなりました。
- ・ 商業振興事業（中小企業人材育成支援事業）  
感染症の影響により、県外でのセミナーを受講しづらい環境が続いたことが要因とみられ、実績額が小さくなりました。
- ・ スマートシティ関連事業  
当初は外部専門人材の登用を計画し人件費等必要額を予算計上しましたが、令和4年11月の盛岡



未来技術地域実装協議会の設立に伴い、同協議会運営を通じて事業を推進することへと方針を変更し、外部専門人材の登用を行わなかったことにより、皆減となりました。

- 工場新設拡充等事業

道明地区新産業等用地企業立地促進事業補助金、情報関連企業立地促進事業補助金が増となったことにより、実績額が大きくなりました。

- 産業支援事業

公募による盛岡市産学共同研究支援事業等補助金への申請金額が、予算額に満たなかったことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ 新産業等用地整備事業（特別会計）  
 第二事業区の造成に係り、整備区画の精査に時間を要し、工事及び土砂運搬（委託業務）などを一部実施することができなかったことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ 介護従事者確保事業（介護の仕事魅力発信事業）  
 年度中の出前講座の開催回数を 10 回と見込み、市内の小中学校及び高等学校に対し事業の周知を行いました。学校からの申込件数が 1 件となり、予算額との差が生じたことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ 盛岡テクノミュージアム設置事業  
 新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の見学を制限する傾向が生じ、登録・補助申請が無かったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ 私立児童福祉施設運営費助成事業（医療的ケア児保育支援事業）  
 事業の対象施設数について、医療的ケア児が在園する私立保育所 2 園 2 人を予定していましたが、受入の実績が 1 園 1 人になったことで、実績額が小さくなりました。
- ・ 母子保健事業（産後ケア事業）  
 県産後ケア事業利用推進事業補助金により、課税世帯の方も利用料が無料となったことから、利用者の増加に繋がり、実績額が大きくなりました。
- ・ 特別支援教育事業（医療的ケア学校看護師の配置）  
 医療的ケアを必要とする予定の児童 2 名が、うち 1 名は病状回復により医療的ケアが年度当初から不要となったことや、もう 1 人の医療的ケアを受けていた児童が年度途中に入院し通学できなかったことにより実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況

実績値の推移																					
指標①	市内IT産業事業所数	単位 社	進捗 ◎																		
当初値(R1)	119	R6目標値	160																		
		目指す方向	↗																		
<table border="1"> <caption>市内IT産業事業所数実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>160 (目標)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	119	R2	-	R3	136	R4	-	R5	-	R6	160 (目標)				
年度	実績値																				
当初値	119																				
R2	-																				
R3	136																				
R4	-																				
R5	-																				
R6	160 (目標)																				
指標②	県内大学生県内就職内定率	単位 %	進捗 △																		
当初値(H29)	43.6	R6目標値	50.0																		
		目指す方向	↗																		
<table border="1"> <caption>県内大学生県内就職内定率実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>43.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>43.1</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>41.9</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>43.4</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>44.9</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>41.0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>50.0 (目標)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	当初値	43.6	H30	43.1	R1	41.9	R2	43.4	R3	44.9	R4	41.0	R5	-	R6	50.0 (目標)
年度	実績値 (%)																				
当初値	43.6																				
H30	43.1																				
R1	41.9																				
R2	43.4																				
R3	44.9																				
R4	41.0																				
R5	-																				
R6	50.0 (目標)																				
指標③	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	単位 %	進捗 ○																		
当初値(H29)	15.2	R6目標値	50.0																		
		目指す方向	↗																		
<table border="1"> <caption>子育て支援策・支援活動が充実していると感じる市民の割合実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>15.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>18.9</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>23.2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>20.8</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>50.0 (目標)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標値および実績値は平成 27 年度から累計</p>				年度	実績値 (%)	当初値	15.2	H30	19.9	R1	18.9	R2	23.2	R3	19.0	R4	20.8	R5	-	R6	50.0 (目標)
年度	実績値 (%)																				
当初値	15.2																				
H30	19.9																				
R1	18.9																				
R2	23.2																				
R3	19.0																				
R4	20.8																				
R5	-																				
R6	50.0 (目標)																				
指標④	女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数(えるぼし認定)	単位 社	進捗 ◎																		
当初値(H30)	6.0	R6目標値	20.0																		
		目指す方向	↗																		
<table border="1"> <caption>認定企業数(えるぼし認定)実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>20 (目標)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	6	R1	8	R2	11	R3	13	R4	15	R5	-	R6	20 (目標)		
年度	実績値																				
当初値	6																				
R1	8																				
R2	11																				
R3	13																				
R4	15																				
R5	-																				
R6	20 (目標)																				

- ・ **市内IT産業事業所数／◎ 目標値に向け順調に推移**  
着実に数は増えているものの、目標値到達には、更なる取組が必要です。伸び悩みの要因として、IT企業が集積するオフィスが不足していることが挙げられます。
- ・ **県内大学生県内就職内定率／△ 遅れが生じている**  
コロナ禍において、大学生の就職先として地元志向が高まり、令和2年度・3年度の県内就職内定率は上昇傾向にありましたが、令和4年度は前年と比較して3.9ポイント減少しており、目標値達成に向けて更なる取組が必要です。
- ・ **「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合／○ 目標値に向け推移**  
昨年度から1.8%向上はしているものの、ここ数年は20%前後で推移しており、令和6年度の目標値50.0%とは大きな差がある状況となっています。
- ・ **女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数（えるぼし認定）／◎ 目標値に向け順調に推移**  
毎年着実に認定企業は増加しており、目標値到達に向けて更なる取組が必要です。

## ■ 主な成果、課題、今後の取組

- ・ **DX時代のしごとづくり**

### （成果）

令和4年度にIT関連事業者3者と立地協定を締結したことは一定の成果と言え、本市への立地等に関心のある企業に対して、パンフレットやホームページ等により、IT産業振興に積極的に取り組んでいることを伝えることができていることが結果に繋がっているものと思われます。

IT産業振興戦略に基づき、盛岡AI・IoTプラットフォーム事業により、セミナー・学習交流会、実証実験支援、IT人材育成等を行うとともに、活動内容をホームページやパンフレットで周知し、サテライトオフィス誘致に取り組んだほか、未来技術の導入等に関心のある民間事業者等による「マルチモノ盛岡推進協議会」を組織し、本市の取組に関心を示した企業等が参画する機会を設けました。本市には、理工系の大学や専門学校があり、理工系人材の育成に寄与しています。

### （課題）

プラットフォームの各種事業や、スマートシティ関連事業等により、デジタル技術を活用する企業が集まり、実証実験等に取り組んでいますが、共創によるビジネス上の社会実装には至っておらず、参集企業間のより深い結びつきを形成していく必要があります、企業間の交流を促進する施策や場所が必要です。

### （今後の取組）

企業ニーズの高い「IT人材育成」に関する取組を充実させ、企業の参画を促進します。

盛岡に集積する新しい技術やサービス開発に取り組む企業を周知・育成するとともに、IT企業集積拠点を創出し、スタートアップ企業の集積を促進します。

また、北上川バレープロジェクトの実現に向け、IT企業のみならず製造業の立地による「稼ぐ力」を強くします。

- ・ **若者と地元産業をつなぐ**

### （成果）

市内企業における若者の人材確保・採用力向上に向けて、学生と市内企業を繋ぐ取組や企業の働く場としての魅力向上を図る取組を複合的に実施したほか、学生へのカウンセリング等による就職支援を平行して実施したことは、マッチングの場の提供や学生の地元志向を高める上で一定の役割を果たしました。

(課題)

企業の新卒採用意欲が高まっている一方で、県内大学生の県内就職率は前年度と比較して低下しています。

市内企業の知名度が首都圏の企業と比較して高くないことや、新型コロナウイルス感染症影響が弱まったことを受けて、再び学生の県外志向が高まっているものと思われます。

また、奨学金返還支援事業を実施していますが、事業の資格者養成校や大学への周知が十分でなく、認知度がまだ高くないため、市内事業所への誘引が限定的な状況です。

(今後の取組)

県外大学等の学生のU I ターンを促進するため、雇用創出や創業支援に係る取組を行うほか、地元企業の働く場としての魅力向上を図ります。

大都市圏との待遇格差の解消に資するため、DXの推進などにより、地域経済の活性化や企業収益向上を目指す取組を行います。

また、魅力的な就職先確保のため製造業などの誘致や立地が可能な土地の確保等により、新たな雇用創出につなげるとともに、若者の創業・起業を支援するための取組を行います。

奨学金返還支援事業については、学生向けの周知を更に進め、市内事業所への補助対象者を増加させます。

・ **仕事と子育ての希望をかなえる**

(成果)

女性が働きやすい環境整備のための児童センター未設置学区への整備について、児童センターが未設置の小学校区に順次整備が進められています。

保育ニーズに対応した定員維持のため、保育士奨学金返還支援給付金により166名の保育士に、保育士宿舍借上げ支援事業により35事業者・延べ50施設に、若手保育士処遇改善支援事業により30事業者・延べ44施設に補助を行い、若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大を図ったことで、保育士確保に繋がっています。

医療的ケアを行う児童を受け入れた保育施設に対し、必要となる経費の補助を行い、医療的ケアを行う児童の受入れ施設を確保しました。

また、女性活躍推進法に基づく認定企業については、国から認定を受ける市内事業所が着実に増えており、女性が能力を発揮しやすい職場環境整備が、優秀な人材の確保や企業イメージの向上など企業の成長に繋がるという認識が浸透しつつあります。

(課題)

依然として、「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合は低いことから、子育て世代に対し、市の子育て支援策・支援活動に関する情報発信を効果的に行う必要があり、スマートフォンの活用等により、子育て世代が気軽に情報を取得できる環境が求められています。

子育て支援ニーズに関するアンケート調査では、充実を望む支援策として「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」を求める声が70.1%と高いことから、施設を充実させて利用者を増やすことが、子育ての不安感や孤立感の解消に繋がるものと考えられます。

保育士の確保については、関東地方など都市部に就職先を求める保育士が増えており、地元で保育士として働くメリットを感じてもらうための更なる施策が必要です。

女性活躍推進法に基づく認定企業数については、市内における認定事業所の増加の余地は未だ大きいことから、制度の認知や、認定を受けることで企業のイメージアップや優秀な人材の確保に繋がるなどのメリットがまだ広く伝わっていない、または、職場環境整備の重要性は理解しているものの、取り組む余裕がない事業所が多くあることが予想されます。

(今後の取組)

児童数が増加している盛南地区では、子育て支援のニーズが高まってきていることから、地域子育て支援拠点の開設を進めるほか、引き続き児童センターが未設置の小学校への整備を進めます。

市の子育て支援策・支援活動に関する情報発信については、スマートフォン等で利用できる「もりおか子育てアプリ」を積極的に活用し、利用者の拡大を図ります。

また、保育士の確保に向けて、雇用環境の改善に取り組みます。

女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数の向上については、人材育成セミナーなどの啓発事業を実施し、引き続き企業の取組を支援します。

## 重点2 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト

(取組期間：令和4年度～令和6年度)

### ○ コロナからのV字回復

誘客促進や消費の拡大を図るため、東北六市や盛岡広域8市町と連携したプロモーション、MICE(マイス)の誘致等を推進しました。また、まつり・イベントの振興等により来訪者に盛岡らしいおもてなしを提供したほか、地域経済への波及効果が期待される高規格スポーツ施設を活用した誘客コンテンツの拡充・強化に取り組みました。

### ○ ポストコロナの交流・新展開

感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、芸術や文化、スポーツ等を通じて人々が交流できる機会を創出しました。また、SNSやオンラインを活用した交流のほか、デジタル技術等を活用し、市外の方が積極的に本市と関わりをもつ機運を醸成するための仕掛けづくりなど関係人口や交流人口の創出・拡大に取り組みました。

### ○ 市民の日常に生まれるにぎわいの創出

新盛岡バスセンターのにぎわい機能による周辺エリアの価値向上、デジタル技術を活用した公共交通の利便性向上、将来のまちづくりを見据えた内丸地区における一体的再整備のプラン構築に取り組みました。また、バスセンターと近接する地区の再開発による交流拠点の整備に引き続き取り組んだほか、公園・歩道等の公共空間を活用した居心地の良い空間の整備に取り組みました。

## ■ 重点事業の実績

(単位 千円)

取組の方向性	No	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
コロナからのV字回復	1	生涯スポーツ推進事業 (競技大会等開催事業(日本スポーツマスターズ2022岩手大会))	13	2,345	1,913	0
	2	スポーツ大会・合宿誘致事業 (合宿開催補助事業)	13	1,208	779	0
	3	地域おこし協力隊活用事業 (盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進)	13	3,995	1,002	0
	4	体育施設整備事業 (盛岡南公園野球場整備事業)	13	3,527,174	3,535,148	0
	5	盛岡地区かわまちづくり事業	14	1,000	1,000	0
	6	盛岡の食材プロモーション事業	21	3,451	3,451	0

取組の 方向性	No	重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
コ ロ ナ か ら の V 字 回 復	7	商業振興事務 (プレミアム付商品券発行事業)	22	207,104	196,772	0
	8	商業振興事務 (プレミアム付き応援チケット事業)	22	112,546	107,829	0
	9	観光施設整備事業 (観光客受入環境整備対策事業)	24	60,000	42,134	0
	10	観光客誘致宣伝事業 (東北六市連携事業)	24	5,000	5,000	0
	11	観光客誘致宣伝事業 (街なかさんさ発信事業)	24	1,810	1,810	0
	12	観光団体育成強化事業 (盛岡伝統芸能常設公演事業)	24	3,880	3,880	0
	13	まつり・イベント振興事業 (盛岡さんさ踊り)	24	18,075	18,075	0
	14	まつり・イベント振興事業 (チャグチャグ馬コ行事)	24	6,422	6,422	0
	15	まつり・イベント振興事業 (盛岡秋まつり山車)	24	7,441	2,855	0
	16	まつり・イベント振興事業 (仮称)もりおか街なかイルミネーションプロジェ クト事業	24	50,000	50,000	0
	17	広域観光推進事業 (盛岡・八幡平広域観光推進協議会事業)	24	3,181	3,181	0
	18	MICE(マイス)誘致推進事業	24	18,250	11,801	0
	19	姉妹都市等国際交流事業	28	47,345	23,382	0
	20	友好都市等交流事業 (うるま市友好都市提携10周年記念事業)	29	12,196	8,645	0



取組の 方向性	No	重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
ポスト コロナの 交流・ 新展開	21	芸術文化活動振興事業 (盛岡文士劇東京公演開催準備)	12	5,000	5,000	0
	22	芸術文化活動振興事業 (盛岡国際俳句大会)	12	5,600	5,600	0
	23	生涯スポーツ推進事業 (競技大会等開催事業(いわて盛岡シティマ ラソン))	13	39,000	39,000	0
	24	移住・定住・交流人口対策事業 (関係人口の創出・拡大等)	14	40,042	39,090	0
	25	観光客誘致宣伝事業 (首都圏観光プロモーション事業)	24	13,770	13,768	0
	26	まつり・イベント振興事業 (全国高校生短歌大会)	24	4,275	4,275	0
市民の 日常に 生まれる にぎわいの 創出	27	芸術文化活動振興事業 (市民総合文化祭事業)	12	678	361	0
	28	芸術文化活動振興事業 (芸術・伝統文化体験事業)	12	2,200	2,200	0
	29	スポーツ活動機会提供事業 (新生活様式における健康づくり及び経済振 興支援事業)	13	10,023	10,023	0
	30	内丸地区再整備事業 (内丸プラン作成業務)	16	20,000	20,130	0
	31	商店街等指導事業 (商店街等魅力強化支援事業)	22	90	0	0
	32	商店街活性化支援事業 (「映画の街盛岡」推進事業)	22	1,200	1,200	0
	33	商店街活性化支援事業 (商店街活性化支援事業)	22	650	407	0
	34	商店街活性化支援事業 (商店街情報発信事業)	22	300	300	0

取組の 方向性	No	重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
市民の 日常に 生まれる にぎわいの 創出	35	商店街活性化支援事業 (商店街イベント事業)	22	2,185	744	0
	36	道の駅設置事業	24	405,460	1,793,796	1,744,687
	37	お城を中心としたまちづくり事業 (盛岡城跡公園芝生広場整備事業)	26	906	91	0
	38	盛岡バスセンター整備事業	26	81,043	80,999	0
	39	市街地再開発事業 (中ノ橋通一丁目地区)	26	1,144,868	1,144,868	1,144,758
	40	動物公園整備事業	26	294,086	284,945	0
	41	まちなかウォークアブル推進事業	26	0	0	0
	42	公共交通利用促進対策事業 (バスロケーションシステム更新整備事業)	27	18,982	17,881	0
	43	公共交通利用促進対策事業 (交通系ICカード導入事業)	27	29,460	51,044	0
全43事業 事業費合計				6,212,241	7,540,801	2,889,445

- ・ スポーツ大会・合宿誘致事業（合宿開催補助事業）  
各競技団体等に制度が十分に認知されておらず、補助申請が伸びなかったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ 地域おこし協力隊活用事業（盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進）  
当初、地域おこし協力隊への応募が無く、令和5年1月からの着任だったことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ まつり・イベント振興事業（盛岡秋まつり山車）  
新型コロナウイルス感染症の影響により、盛岡観光コンベンション協会の山車運行を行わなかったことや山車奉納台数の減により実績額が小さくなりました。
- ・ MICE（マイス）誘致推進事業  
新型コロナウイルス感染症の影響により、WEB開催による申請取り下げや参加者数が見込みよりも

減少したことで補助金が減少となり、実績額が小さくなりました。

- 姉妹都市等国際交流事業  
新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、姉妹都市カナダ・ビクトリア市への訪問が中止になるなど、事業の中止があったことにより実績額が小さくなりました。
- 芸術文化活動振興事業（(仮称) 市民総合文化祭事業）  
当初予定していた事業内容を変更し、旧繫小学校の利活用のためのトライアルサウンディングとして実施したことにより実績額が小さくなりました。
- 商店街等指導事業（商店街等魅力強化支援事業）  
コロナ禍の影響により、商店街団体等において研修を実施する機会が少なくなっていることなどが要因となり、皆減となりました。
- 商店街活性化支援事業（商店街活性化支援事業）  
コロナ禍により、商店街団体等のイベントが、中止や縮小の傾向にあったことにより実績額が小さくなりました。
- 商店街活性化支援事業（商店街イベント事業）  
コロナ禍により、商店街団体等のイベントが、中止や縮小の傾向にあったことにより実績額が小さくなりました。
- 道の駅設置事業  
国補正予算の活用に伴い、令和5年度事業費の一部を令和4年度3月補正に計上したことにより実績額が大きくなりました。
- お城を中心としたまちづくり事業（盛岡城跡公園芝生広場整備事業）  
令和4年度は試掘調査や関係者懇談会を計画しましたが、コロナ禍の影響もあり、事業計画の見直しに時間を要し、予定した調査等を見送ったことにより実績額が小さくなりました。
- 公共交通利用促進対策事業（交通系ICカード導入事業）  
バス事業者において、従来の磁気カードとの混在解消やキャッシュレス決済を促進することで利用者の利便性向上を図るため、当初計画の見直し（導入台数の増）を行ったことにより実績額が大きくなりました。

■ 指標の状況

実績値の推移																					
指標①	観光客入込数	単位 万人 回	進捗 △																		
当初値(H28)	500	R6目標値	530																		
		目指す方向	↗																		
<table border="1"> <caption>観光客入込数実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>500</td></tr> <tr><td>H29</td><td>500</td></tr> <tr><td>H30</td><td>508</td></tr> <tr><td>R1</td><td>519</td></tr> <tr><td>R2</td><td>324</td></tr> <tr><td>R3</td><td>310</td></tr> <tr><td>R4</td><td>370</td></tr> <tr><td>R6目標値</td><td>530</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	500	H29	500	H30	508	R1	519	R2	324	R3	310	R4	370	R6目標値	530
年度	実績値																				
当初値	500																				
H29	500																				
H30	508																				
R1	519																				
R2	324																				
R3	310																				
R4	370																				
R6目標値	530																				
指標②	中心市街地の通行量	単位 人回	進捗 ○																		
当初値(H30)	13,094	R6目標値	17,500																		
		目指す方向	↗																		
<table border="1"> <caption>中心市街地の通行量実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>13,094</td></tr> <tr><td>R1</td><td>13,090</td></tr> <tr><td>R2</td><td>12,690</td></tr> <tr><td>R3</td><td>14,389</td></tr> <tr><td>R4</td><td>13,453</td></tr> <tr><td>R6目標値</td><td>17,500</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	13,094	R1	13,090	R2	12,690	R3	14,389	R4	13,453	R6目標値	17,500				
年度	実績値																				
当初値	13,094																				
R1	13,090																				
R2	12,690																				
R3	14,389																				
R4	13,453																				
R6目標値	17,500																				
指標③	都市機能誘導区域*1等の流動人口*2	単位 人	進捗 △																		
当初値(H30)	68,456	R6目標値	80,000																		
		目指す方向	↗																		
<table border="1"> <caption>都市機能誘導区域等の流動人口実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>68,456</td></tr> <tr><td>R1</td><td>79,213</td></tr> <tr><td>R2</td><td>66,085</td></tr> <tr><td>R3</td><td>64,317</td></tr> <tr><td>R4</td><td>70,167</td></tr> <tr><td>R6目標値</td><td>80,000</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	68,456	R1	79,213	R2	66,085	R3	64,317	R4	70,167	R6目標値	80,000				
年度	実績値																				
当初値	68,456																				
R1	79,213																				
R2	66,085																				
R3	64,317																				
R4	70,167																				
R6目標値	80,000																				
<p>*1 都市機能誘導区域 盛岡市立地適正化計画で設定している。医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を維持・誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。</p> <p>*2 流動人口 13時から14時において対象地点に滞留している人の推計値。地域経済分析システム(RESAS)より抽出したもの。</p>																					

- ・ **観光客入込数／△ 遅れが生じている**

令和3年度の数値と比較すると60万人の回復となりました。しかし、令和6年度の目標値である530万人の到達には、更なる取組の推進が必要です。

- ・ **中心市街地の通行量／○ 目標値に向け推移**

令和3年度の数値との比較では936人の減となりました。令和6年度の目標値である17,500人を到達には、更なる取組の推進が必要です。

- ・ **都市機能誘導区域等の流動人口／△ 遅れが生じている**

令和3年度の数値と比較すると5,850人の増加となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響下以前の令和元年度の数値と比較すると依然として活気が戻ったとは言えない状況が続いています。

## ■ 主な成果、課題、今後の取組

- ・ **コロナからのV字回復**

**(成果)**

チャグチャグ馬コ及び盛岡さんさ踊りなどの伝統行事やまつりイベントを3年ぶりに開催したことで、多くの観覧者が本市を訪れ、街なかの賑わい創出や、盛岡の魅力発信と再訪に繋がる取組となり、コロナ禍における観光需要の段階的回復に向けた初期の実績として成果を挙げました。

参加者や観覧者等の期待が大きかったことに加え、コロナ禍を踏まえ、開催規模の縮小や感染対策を徹底し開催したことにより、多くの観光客が盛岡を訪れることに繋がったものと推察されます。

消費拡大策として、地域経済循環型キャッシュレス決済ツール「MORIOペイ」を活用したプレミアム付きの電子商品券や、飲食店等のプレミアム付き応援チケットの発行を支援し、地域経済の活性化を図りました。

**(課題)**

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことで、ようやく収束の目途は見えてきたものの、全国的に感染者の数は増加傾向にあることから、引き続き、状況を注視しながら事業を進める必要があります。

**(今後の取組)**

まつり・イベント開催については、既に開催済みのものについては、令和5年度の実施内容も検証し、次年度の開催に繋がります。

また、ポストコロナを見据えた取組を推進するとともに、本市固有の観光資源を活かした誘客促進や通年型観光を推進します。

長期化したコロナ禍に加えて、物価高騰が続いていることから、プレミアム付きの電子商品券の発行のほか、MORIO<sup>®</sup>決済還元キャンペーンの実施により、継続的に消費の下支えを行います。

- ・ **ポストコロナの交流・新展開**

**(成果)**

関係人口の拡大については、東京圏在住の盛岡で生活したことがある人などを対象とした「盛岡という星で」プロジェクトにおいて、盛岡を身近に感じられるよう情報発信を行う中で、発信するコンテンツの種類を増やし、利用者を飽きさせないための工夫をしたほか、継続的な発信に努めInstagramを中心に15,000人以上のフォロワーを獲得しました。

また、令和3年5月開設の、市内中心部の百貨店内に関係人口交流拠点「盛岡という星でBASE STATION」では、累計1万人が来場したほか、SNSを中心とした情報発信や定期的なイベント開催により、拠点の認知を高めました。

#### (課題)

インスタグラム等による情報発信を通じて、盛岡を想起する機会を提供することのみならず、本市への来訪する意欲のある関係人口をいかにして創出するかが課題です。

また、「盛岡という星でBASE STATION」が交流拠点として認知されたことにより、休日はイベントが開催されるなど賑わいが創出されていますが、平日の利用者が少ない傾向にあり、高校生等が、平日の放課後に探究学習の活動の場として利用できることが周知しきれておらず、学生が利用可能な拠点としての認知が不足しています。

#### (今後の取組)

引き続き情報発信を行うことにより、本市の魅力をも効果的に発信し、関係人口の拡大や深化を図ります。また、「盛岡という星でBASE STATION」の認知度を更に向上させるため、通信の発行やイベントの開催を行うほか、高校生等の探究学習を支援し、高校や大学等への周知を図ることで利用者の増加を図ります。

### ・ 市民の日常に生まれるにぎわいの創出

#### (成果)

経済的、人的支援を行うことで、コロナ渦においても、商店街団体等の新しい生活様式に対応したイベント開催を促進しました。

#### (課題)

中心市街地における通行量は、令和3年度及び4年度は当初数値を上回っていますが、目標とする数値には至っていません。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、商店街や事業者において営業活動の自粛を余儀なくされた時期が長期化したことや、オンライン会議やインターネットショッピングが浸透したことなどから、外出の機会が減少していることなどが要因として推察されます。

また、市中心部の内丸地区では、建物群の老朽化、官公庁の一部移転等により、中心市街地の吸引力等が低下しており、内丸地区の各施設の関係者間において、一体的な再整備に向けた協調的な地区再生の方向性を取りまとめる必要があります。

#### (今後の取組)

商店街向けの補助事業について、制度設計の見直しを行いながら、商店街活動の活性化を図ります。特に、中心市街地におけるイベント開催は、集客効果が高いほか、中心市街地の魅力向上に繋がることから、盛岡バスセンターの開業を機会としたイベントや、街路を活用したイベントの開催などについて、新たな補助制度を創設しながら、商店街団体や事業者の取組を後押しします。

また、ニューヨークタイムズ紙効果により、若者が経営する飲食店や雑貨店などの商業・サービス事業者が注目されていることから、中心市街地での空き店舗等を活用した商業・サービス事業者の育成を図る取組や、小規模で経営する個店がフォーカスされるような取組を検討します。

内丸地区の再整備については、基本的な方向性（土地利用、交通、都市空間デザイン等）を懇話会、各施設関係者の実務者会議、有識者会議等で検討し、具体的な事業手法等を盛り込んだ（仮称）内丸プランを取りまとめます。

河南地区における商業施設等の再開発のほか、公園・歩道等の公共空間を活用した居心地の良い空間の整備により、賑わい環境の創出を図り、中心市街地の魅力向上を目指します。